

メルマガ「とちぎ国際通信」 2025 年春号 (第 43 号)

■メルマガタイトル変更について

2025 年度より、メルマガタイトルを「とちぎ通信」から「とちぎ国際通信」に変更いたしました。引き続き、栃木県の国際交流活動を中心に様々な情報を発信いたします。また、今後は SNS（県公式 X、LINE）でも本メルマガを配信し、より多くの方に栃木県の国際的な取り組み、魅力を PR して参ります。県公式 X では、国際的な取り組みに限らず、経済、観光、文化等、様々な分野の情報を発信しておりますので、あわせてご確認、フォローをお願いいたします。

〈リンク先〉県公式 X

https://twitter.com/pref_tochigi



■ベトナム・ビンズン省知事表敬

2 月 18 日に、LRT の導入を検討しているベトナム・ビンズン省からの訪問団が、LRT の視察のために栃木県、宇都宮市を訪れました。2023 年 8 月に開業した芳賀・宇都宮 LRT（ライトライン）とビンズン LRT 計画は、規模や状況（周辺に工業団地がある）が非常に似ていることから、ビンズン省は、ライトラインの計画でアドバイザリーをした東急電鉄の知見を活かしながら、環境負荷の低い通勤・通学ができる環境整備を目指し、検討を進めています。知事との会談の中で、トゥーヤモット市（ビンズン省の首都）が宇都宮市との姉妹都市提携を希望していることや、ビンズン省への進出を希望する県内企業があれば県としても支援していくこと等、様々な意見交換が行われました。



▲ビンズン省との会談の様子

■宇短附高調理科生徒による知事表敬

2 月 21 日、宇都宮短期大学附属高等学校調理科の生徒 4 名、教職員 3 名が、フランス海外研修旅行の一環で、本県と交流協力に関する協定書を締結しているヴォークリューズ県の県議会を訪問した際の研修旅行の報告と、同県議会から預かった贈呈品を知事に渡すため、表敬訪問しました。

同県議会から預かったワイン等の記念品を生徒から知事へ手渡した後、フランス・プロヴァンス料理の調理研修や、議事堂の見学、議長席での記念撮影等、研修旅行の感想が発表されました。これに対して知事からは、ヴォークリューズ県議会訪問の様子についての質問や、生徒に対して卒業後進路先で頑張してほしいという激励のメッセージ等が述べられました。



▲生徒から福田知事へ預かった記念品を手渡し

■外国人材センター開所

4 月 1 日に、県内企業等の外国人材活用に係る相談、人材確保・定着支援、及び国の制度変革に係る理解促進などを総合的に支援する「とちぎ外国人材受入支援センター」を県国際交流協会内に開設しました。

本センターでは、既存の外国人材コーディネーター 1 名に加え、外国人の採用や育成業務の経験のある外国人材受入支援コンシェルジュ 2 名を新たに配置し、語学や日本の商習慣に関する勉強会の企画などを通じて人材の定着を促進するなど、企業ニーズに応じたオーダーメイドの支援に取り組めます。働く場所として「選ばれるとちぎ」の実現に向け、きめ細かな支援を展開して参ります。

〈リンク先〉とちぎ外国人材受入支援センター

https://tia21.or.jp/content/files/gaikokujinzai_center.pdf

■ベトナム・ビンフック省来県

4月3日～4日にかけて、本県と経済交流に関する覚書を締結しているベトナム・ビンフック省からの訪問団が来県し、同省の投資環境プロモーション及び県内経済界等との意見交換会、歓迎レセプションを開催しました。同省の副知事にあたるチャン・ズイ・ドン人民委員長ら約20名が天利副知事らと県公館で会談し、同州担当者による工業団地の開発状況や農業振興などの成長戦略についてのプレゼンテーション等が実施され、今後の連携などに関する意見交換が実施されました。

天利副知事は、ビンフック省との交流を深めることは、本県にとって大きな意義があると述べ、産学官の様々な分野において、さらなる交流活動の促進を確認しました。



▲会談の様子



▲レセプションでの集合写真

■国際交流員（中国）の秦さんの着任

今年度より、中国から国際交流員として秦 長志（シン チョウシ）さんが赴任しました。翻訳・通訳・国際交流の分野などで活躍していただきます。

【秦さんの挨拶】

私は秦 長志（シン チョウシ）と申します。2025年4月に中国浙江省から栃木県に参りました。出身はザクロで有名な中国山東省棗莊（ソウソウ）市です。



日本語を勉強し始めたきっかけは日本のアニメです。小さい頃から、『スラムダンク』、『クレヨンしんちゃん』、『名探偵コナン』などの日本アニメが大好きでした。放課後には必ずDVDで日本アニメを見ながら宿題をしていました。そのこともあり、大学では日本語学科を専攻しました。学んだ日本語を活かし、浙江省でも国際交流の仕事をしていました。

趣味はビリヤードとゲームです。ビリヤードはあまり上手ではありませんが、自分の静かな性格と合っているので好きです。

栃木の皆様と交流する機会に恵まれて、とても嬉しいです。すでに栃木県の皆様から、多くのサポートをいただいて、心から感謝しております。よろしくお願いいたします。

世界で活躍する 「とちぎびと」の ご紹介

世界で活躍する「とちぎびと」の皆さまを紹介させていただきます。
今回は、アメリカ・ハワイ州オアフ島に所在する「ハワイ栃木県人会」の
「栃木事業所(宇都宮市)」の坂本安男代表に、同県人会及び事業所の活動について執筆いただきました。坂本様、ありがとうございました。ハワイ栃木県人会、栃木事業所の皆さまのますますのご活躍を期待しています。
※皆さまからの執筆ご希望の連絡をお待ちしています！

ハワイ栃木県人会栃木事業所

代表 坂本 安男

多くのランナーを魅了しつづける世界最大級のランナーの祭典「ホノルルマラソン」とHAWAIIでは肩を並べる「ホノルルフェスティバル 2025」に、ハワイ栃木県人会（本江 滋夫会長）との協働で、初参加、初出展しました。

毎年3月に開催されるこのイベントは、ワイキキのカラカウア大通りのパレード、アラモアナショッピングセンター等の複数会場でのフラダンス、そして、総床面積は10万㎡を超えるハワイコンベンションセンター等をメイン会場として開催される、2日間にわたるハワイ最大級イベントです。

ハワイ栃木県人会出展ブースには、1968年からいちご生産量日本一の「いちご王国とちぎ」の更なるPR、大型映像テレビも使用して、次世代型新交通「L.R.T.」や、県内各市町等の観光、産業、物産等々の紹介と、組織の活性化活動として参加/出展しました。

とりわけ栃木県洋装技能協会（坂本 美世子会長）の協力もあり、出荷できない規格外の栃木県産とちおとめ果汁で染色した「いちごウエディングドレス」は、イベント会場内でもひととき目立つディスプレイとなり、現地ラジオ局の取材を受けました。

さらに「いちご型お手玉」「栃木県産材の特製ロゼッタリボン」をはじめ、「L.R.T.のペーパークラフト」等のワークショップは、アメリカ本土の多くの旅行者達にも大好評で出展会場は終日、大賑わいの大盛況でした。

今回の出展を受けて、ハワイ栃木県人会には新たに5名の新入会員も増え、組織内のコミュニケーションの充実はもとより、さらなる組織活性化と拡大等を目的に今後は毎年継続参加/出展する事になりました。

*今回のホノルルフェスティバルの参加/出展光景は、下記アドレスより映像でご視聴いただけます。

〈リンク先〉 <https://youtu.be/7wZaQPQg6-k>



発行・編集：栃木県産業労働観光部国際経済課

E-mail: chiikigaikou@pref.tochigi.lg.jp

発行日：2025年5月28日（水）